
■■■ 福祉社会学会ニューズレター 第75号 ■■■

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.75

<https://jws-assoc.jp/>

E-mail: maf-ws@mynavi.jp

***** INDEX *****

- 第22回大会の自由報告の申し込みと予稿原稿の提出について(4月30日締め切り)
- 第22回大会テーマセッションの申し込みと予稿原稿の提出について(4月30日締め切り)
- 第22回大会テーマセッションについてのお知らせ(4月30日締め切り)
- 第22回大会シンポジウムについてのお知らせ
- 第22回大会の情報サポートと障害による配慮について
- 第22回大会の託児サービスについて(5月末日まで)
- 第22回大会の大会参加費と支払方法について
- 現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方に
- 福祉社会学会・第22回大会の要旨集のホームページ掲載について
- 大学院生に対する学会大会発表支援について

* 第 22 回大会の自由報告の申し込みと予稿原稿の提出について

福祉社会学会第22回大会は2024年6月29日(土)・30日(日)に、津田塾大学千駄ヶ谷キャンパスにて開催されます。大会での自由報告の申し込みについてお知らせします。

自由報告の報告時間は1人30分を持ち時間とし、20分発表、10分討論を標準としますが、申込み数によって調整をお願いすることもあります。

自由報告を希望される方は、電子メールで、以下の報告申込書と予稿集原稿のファイルの両方を添付して、2024年4月30日(火)までに以下のアドレスまでお申し込みください。

jwsaresearch2023-24★googlegroups.com (←★を@に変えてください)

報告申込書：下記のURLにて申込要領をご確認のうえ、申込書のWordファイルをダウンロードして、必要事項をご記入の上、ファイルにて提出してください。

https://www.jws-assoc.jp/taikai/doc/22taikai_bosyu.docx

予稿集原稿：下記のURLにて「予稿イメージ図」をダウンロードの上、所定の書式にしたがってWordファイルにて作成してください。A4版×2枚の分量です。申込書とともにファイルにて提出してください。

https://www.jws-assoc.jp/taikai/doc/22st_yokou-image.docx

* 第 22 回大会テーマセッションの申し込みと予稿原稿の提出について(4 月 30 日締め切り)

今回は公募型テーマセッション、拡大セッションの申し込みはありませんでした。

報告者を公募しない、会員による自主企画セッションについては、上記の自由報告の Word ファイルにて、テーマと部会趣旨（予稿集にそのまま掲載されます）、各報告の報告申込書と予稿集原稿を 2024 年 4 月 30 日（火）までに提出してください。

* 第 22 回大会テーマセッションについてのお知らせ

第 22 回大会では、本学会設立 20 周年の記念イベントとして、研究委員会企画のテーマセッションを開催することにいたしました。

<『福祉社会学文献ガイド』出版記念企画テーマセッション>

○企画の趣旨

当学会 20 周年記念事業の一環として、『福祉社会学文献ガイド』が刊行された。本書の企画趣旨を改めて振り返るとともに、実際に刊行されてからの活用方法、大学院生の側での受け止め方などを踏まえ、今後の福祉社会学の広がりについて展望する。

（登壇者・敬称略）

○コーディネーター：高野和良（九州大学）

○司会：寺田貴美代（新潟医療福祉大学）

○登壇者：亀山俊朗（中京大学）

上村泰裕（名古屋大学）

桜井政成（立命館大学）

染谷莉奈子（日本学術振興会）

馬場智也（名古屋大学大学院）

* 第 22 回大会シンポジウムについてのお知らせ

第 22 回大会のシンポジウムは、以下の内容で開催いたします。

「人が生まれ育つのを社会的にどう支えるか——こども家庭庁の創設をうけて」

○趣旨

2023 年 4 月のこども家庭庁の発足によって、これまで複数の省庁によって実施されていた施策が一元的に管轄されるようになった。この過程において「子ども」やその「家族」はいかなる存在として理解され、これからいかなる政策が展開されていくのだろうか。

本シンポジウムでは、関連する領域において子どもとその家族が直面している現代的課題を明らかにするとともに、こども家庭庁が掲げる「こどもがまんなかの社会」の社会的含意について、批判的観点も含めて議論する。

○登壇者（敬称略）

- ・司会：山下亜紀子（九州大学）・畑本裕介（同志社大学）
- ・解題：畑本裕介
- ・報告者：澁谷智子（成蹊大学）
安藤藍（千葉大学）・川瀬信一（一般社団法人子どもの声からはじめよう）
岡部茜（大谷大学）
- ・討論者：土屋敦（関西大学）・相馬直子（横浜国立大学）

* 第 22 回大会の情報保障と配慮について

第 22 回大会への参加を予定されている方で、情報保障やなんらかの配慮をご希望の方は研究委員会（jwsaresearch2023-24★googlegroups.com ←★を@に変えてください）までお早めにご相談ください。

レジュメについては、例年通りすべてクラウドにアップする予定ですので、読み上げ機能をご利用いただけます。また、今大会から大会シンポジウムのみ Zoom 配信を試験的に行い、自動字幕生成機能をご利用いただけるようにするつもりです。なお、どちらの利用も大会参加申し込み者のみに限らせていただきます。

* 第 22 回大会の託児サービスについて

第 22 回大会への参加を予定されている方で、託児サービスを希望の方は、5 月末日までに研究委員会（jwsaresearch2023-24★googlegroups.com ←★を@に変えてください）までご連絡ください。

* 第 22 回大会の大会参加費と支払方法について

第 22 回大会では大会参加費を徴収します。参加申し込み期間は、2024 年 5 月 8 日（水）から 6 月 12 日（水）

までとします。指定口座への事前振り込みと、フォーム（後日連絡します）への登録の双方を必ずお願いいたします。なお、懇親会に参加される方は、懇親会費も同時にお振込みください。

事前振込のための郵便振替口座は以下の通りです。

00180-3-635250 福祉社会学会大会

※他の金融機関から振り込まれる場合は、下記の振込用口座をご利用ください。

（銀行名） ゆうちょ銀行 （金融機関コード） 9900 （店番） 019 （預金種目） 当座
口座番号） 0635250

必ず事前振り込みをお済ませの上、フォームにご登録ください（フォームでは振込日時と名義をお伺いする予定です）。なお、学生会員は無料なので事前振り込みは不要ですが、フォームからの事前申し込みは済ませておいてください。報告資料などについての連絡は、フォームで登録していただいたメールアドレスにお送りする予定です。

大会当日の受付での参加費・懇親会費のお支払いには対応しかねますので、なにとぞご協力をお願いいたします。

1 大会参加費について

大会参加費は以下の通りです。なお、振替用紙の事前送付はいたしません。

【大会参加費】

（一般・会員） 4,000 円、（学生・会員） 無料

（一般・非会員） 4,000 円、（学生・非会員） 2000 円

2 懇親会について

懇親会は 1 日目（土曜日）に、会場内で開催する予定です。

【懇親会費】

一般 3500 円、学生 2500 円

3 お弁当について

今大会では、お弁当の手配は行いません。ご自身でご用意をお願いします。

ご不明な点は、研究委員会（jwsaresearch2023-24★googlegroups.com ←★を@に変えて下さい）までお問い合わせ下さい。

現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方に

次回の本学会への入会承認は 6 月の大会時に開催予定の理事会となりますが、現在非会員で大会報告申込をお

考えの方も、以下の手続によってご報告（自由報告、テーマセッション報告）いただくことが可能です（共同報告で現在非会員の方が含まれる場合も同様です）。

- (1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申込〆切と同じく 2024 年 4 月 30 日（火）必着で福祉社会学会事務局（〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 明治学院大学社会学部 米澤旦研究室）あてに入会申込書をご郵送下さい。その際、「大会報告申込希望」であることを明記して下さい。
- (2) 同時に、大会報告の申し込みもお願いいたします。申込要領に従って、報告申込書と予稿集原稿を作成し、4 月 30 日（火）までに研究委員会あてにメールでご連絡ください。その際、「事務局に入会申込書送付済」と明記してください。
- (3) 庶務理事と理事会幹事会で入会申込書を確認したうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で追加の確認が必要になった場合は、庶務理事より連絡させていただきます。

なお、9 月に〆切予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿には、6 月大会時の理事会での入会承認が必要となりますので、現在非会員で投稿を御希望の方はお間違いないようお願いいたします。

*** 第 22 回大会の要旨集のホームページ掲載について**

第 22 回大会でも、例年通り要旨集をホームページにて掲載いたしますが、今大会からは一般公開とし、パスワードなしで見られるようにいたします。自由報告にご応募なさる場合は、予稿集がホームページにアップされることをご了解いただきますようお願いいたします。冊子は、配布いたしません。

*** 大学院生に対する学会大会発表支援について**

学会大会で報告する大学院生の支援を目的として、大会参加費を無料とします。そのため、大学院生が学会大会で筆頭報告者、もしくは共同報告者となっている場合であっても、当該報告者の大会参加費は徴収いたしません。

大学院生の皆様におかれましては、積極的に大会での報告や参加についてご検討いただければと存じます。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局